

木のことを知ろう！

令和7年度 月組

7月17日(木)

バス遠足をどこに行こうかと子どもたちと決めていったところ最初は「動物園」「水族館」などが候補にあがった。話をすすめていくと、みんな意見がバラバラだったので、保育士が「おもちゃ美術館というところがあるが、みんなけん玉が好きだから行ってみるのはどうか、けん玉がたくさんあるよ」と提案してみたところみんなが「行きたい」とまとまったので、「檜原森のおもちゃ美術館」に行くことに決まった。

おもちゃ美術館に決まったところで、どんなところかをパンフレットを見てもらった。木の玩具がたくさんあることを伝えた。せっかくなので「木」のことを調べようと提案した。そして「木の玩具」と言ってもピンとこなかったなので、まずは、「木でできているもの」を探そうというミッションをつくった。各グループ、「図1」の紙を渡して調べてきてもらうことにした。

図1 木で出来ている物を探そう

き で できているものを  
さがそう 

8月5日（火）



前に宿題でそれぞれのグループで木でできているのものを探してもらったので、答えをまとめた。（図2）

色々答えがでたが、どうしてその物が「木」でできているのかがわかったのか、根拠を聞いてみると・・・

「色が木の茶色だったから」

「（木の）においがするから」

「木の模様があるから」

などの子どもたちなりの根拠があった。

「木の模様」に関しては、年輪といって、木の年齢がわかるという話をした。木に模様があるという着目点から、年輪の勉強をすることができた。

図2 木で出来ている物を探そう～答え～

きでできているものを

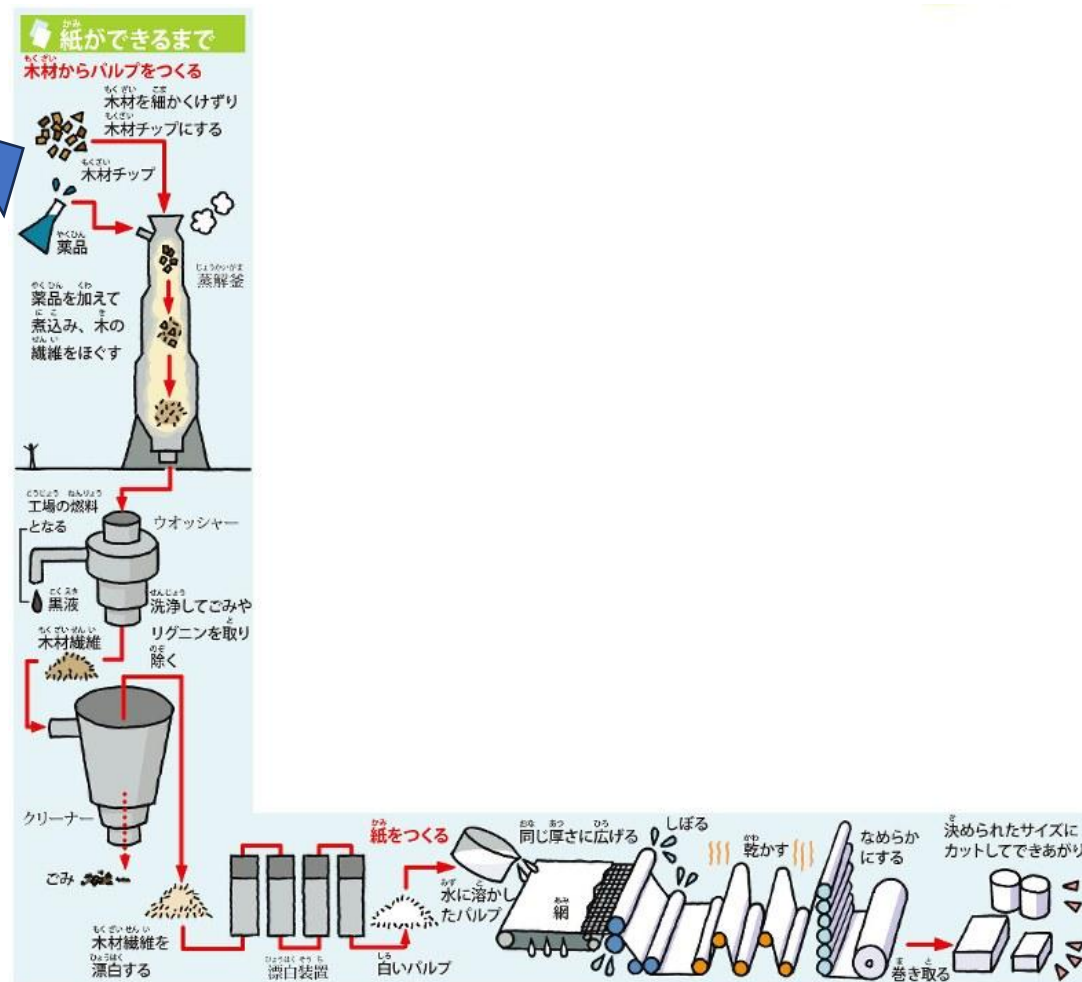
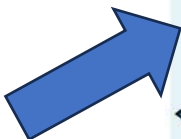
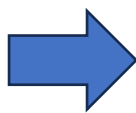
さがそう 

- ・いす
- ・てーぶる
- ・たな
- ・ゆか
- ・かべ
- ・たおるかけ
- ・ろっかー
- ・かいだん
- ・とびら
- ・ぱーてーしょん
- ・すいどう
- ・おみせのかうんたー
- ・ぶたい
- ・ぴあの
- ・くつばこ
- ・おもちゃのれーる
- ・おもちゃのくるま
- ・たいこのばち
- ・じえんが
- ・こま
- ・けんだま
- ・かぷら
- ・かたみの
- ・ぱずる
- ・さいころ
- ・にんぎょうのいえ
- ・ぐらぱっと

8月6日(水)

「木でできているものをさがそう」の答えは、見た目で見えるものがほとんどだったが、段ボールや紙も木から作られるという話をすると、皆ピンときていなかった。次の日に紙ができるまでを図3で説明した。

図3 紙ができるまで



紙も木だと知ってみんなびっくりしていて、「すごい」「色がついているのはどうして？」など紙に対して興味をもっていた。

# 8月7日（木）

けん玉が大好きな子が多いので、「おもちゃ美術館」に行くのに期待感をもてるように、色々な形・大きさのけん玉をあつめて遊んだ。また、木のコマも遊んだ。こまはひもをつけるのが難しいようだが、難しいなりに何度もやって楽しんでいた。「美術館はもっとたくさん、色々な種類があるよ」と伝えるとみんな「楽しみ」と言っていた。「木の玩具」に親しみをもって遊んでいた。



# 9月2日(火)

遠足の下見に行ったとき、おもちゃ美術館の方に「木でできているきのこ」は6種類あって、それぞれ違う木でできているということを知った。そしてそれぞれの木の種類を聞いた。みんなの前でそのことを伝え、木の種類の紹介をした。聞いたことのない名前でも少し難しかったが、「ウォールナットは、くるみの木だよ」「けやきは、若草公園にあって、木の枝を持ってきたよ。」「ホワイトアッシュは板でよく使うよ」「メイプル」は「かえで」でメイプルシロップは、かえでの樹液だよ」など、説明した。「メイプル」の説明では、国旗に詳しいY君は、「かえでは、カナダの旗だよ」と教えてくれた。難しい名前ばかりで、子どもたちにとって難しい内容だったと思うが、Y君のように知っている知識を披露できる場面があって、良い機会だった。また、M・T君はけやきの枝に興味をもって、においをかいで、「木のにおいがする」「見たことある枝だ」と、よく見ていた。M・Y君はホワイトアッシュなどの難しい名前をすぐに憶えていた。遠足でおぼえているか楽しみである。



ホワイトアッシュの板



若草公園にあった、けやきの枝



9月11日（木）

園庭の木を調べてみようということになった。新町保育園「木」マップをつくった。



①ハクモクレン



②ヤマボウシ



③ツバキ

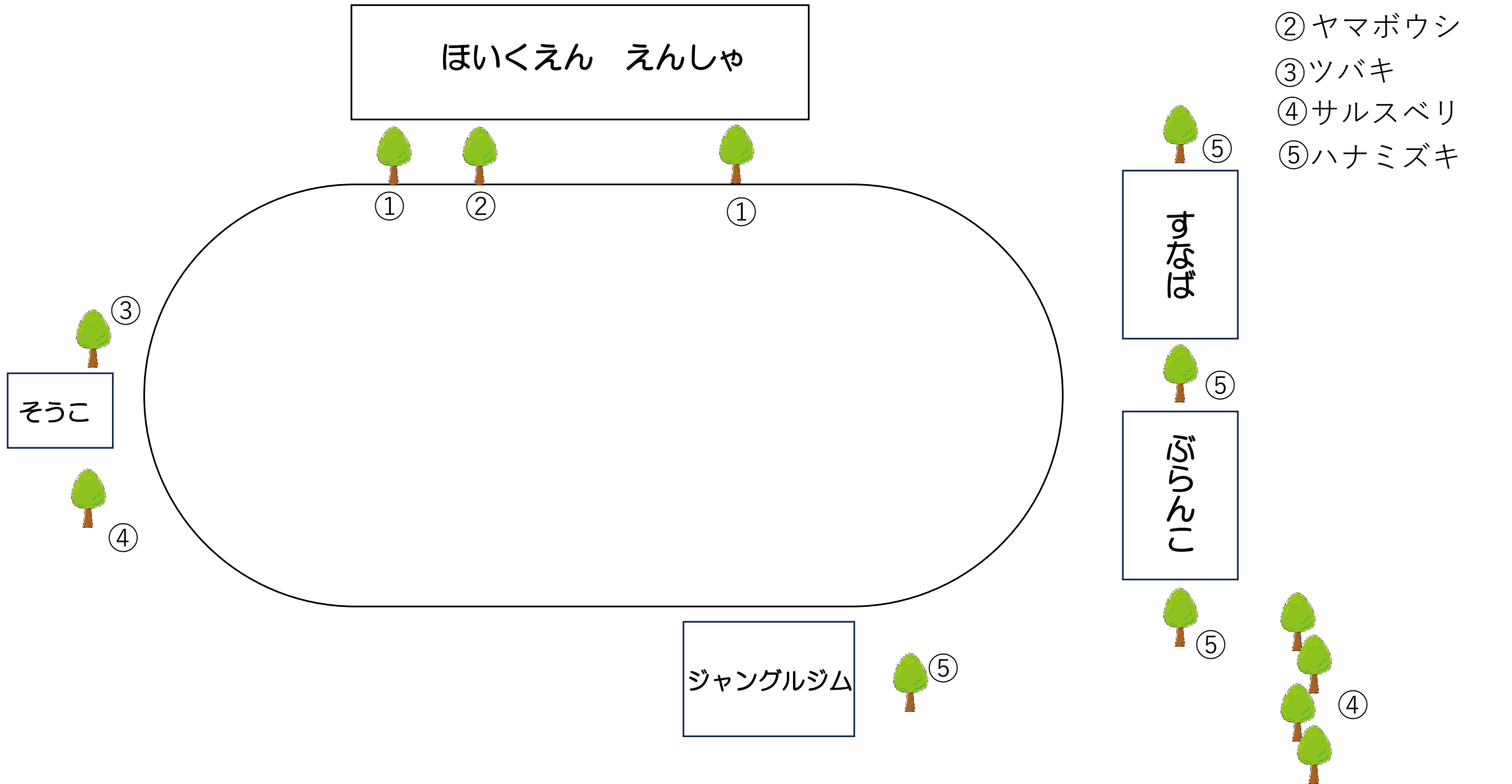


④サルスベリ



⑤ハナミズキ

図 4 しんまちほいくえん「き」の ちず



- ① ハクモクレン
- ② ヤマボウシ
- ③ ツバキ
- ④ サルスベリ
- ⑤ ハナミズキ

9月11日(木)

子どもたちがそれぞれの木を観察して気づいたこと・特徴など

①ハクモクレン



- ・春は白い花がさく
- ・葉っぱの先がとがっている
- ・木の皮は細かいざらざら

②ヤマボウシ



- ・実が黄色でボツボツ
- ・実から良い匂いがする
- ・木の幹がいっぱい

③ツバキ



- ・葉っぱが細い
- ・葉っぱが硬い
- ・葉っぱが濃い緑

④サルスベリ

- ・木の皮がつるつる（さるが木登りで滑るほどつるつるしているからサルスベリというと伝えると関心していた。）
- ・小さいお花がたくさんついている。

⑤ハナミズキ



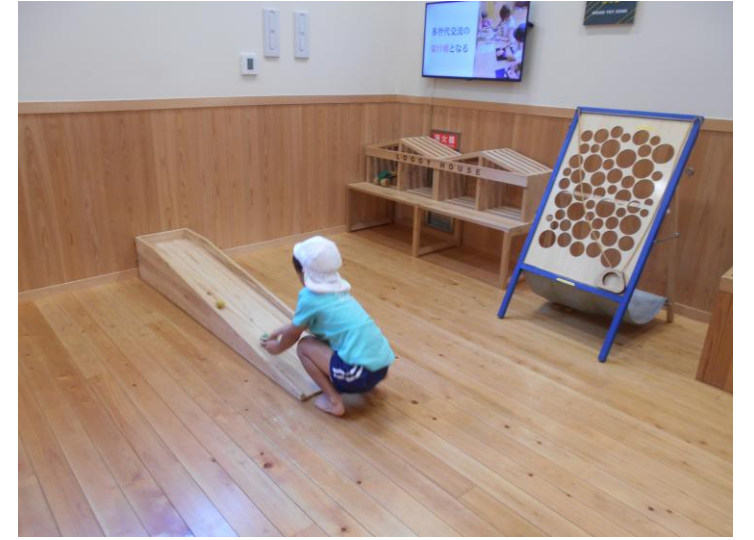
- ・木の皮がごつごつしている。
- ・木の皮がさかなみたい（うろこ）
- ・木の皮が黒い
- ・葉っぱが茶色（紅葉）
- ・赤い木の実があった。（以前）

# 9月26日（金） 檜原 森のおもちゃ美術館へバス遠足

いよいよバス遠足。バスでは木のクイズなどを楽しみました。美術館は、ずっと楽しみにしていたので、みんな大喜びで遊んでいました。思う存分木の玩具で遊べました。

勉強したきのこがありました。M君は「ウォールナットあった」など覚えた知識を言っていました。「すべすべしてる」「木のおいがする」など実際に触ってみんな楽しんでいました。





木のおい、感触をたくさん味わいながら遊びました。「美術館たのしかったね」「またいきたい」「おうちでもつれていってもらおう」など終わった後もずっと言っている子が多かったです。良い思い出になったようです。けん玉、コマ、カプラ（木の積み木）で遊ぶことがより大好きになり、ずっと人気の遊びとなっています。

# 振り返り

おもちゃ美術館の遠足が終わってからも、みんな「木」について興味をもっていて、公園に散歩にいくと、以前は遊具で遊ぶだけだったが、今では、「あの木の名前はなんだろう?」「葉っぱが赤くなってきてる」「おもしろい形の葉っぱがあったよ、なんて木かな?」というように自然に触れて楽しめるようになった。また散歩しているとき、木材屋さんがあった時、興奮して「この後、いろいろな形になるんだよね」「前に勉強したやつだ」と言っていた。他にも保育園の園庭の木が増えたのだが、その植えているときに、真剣に観察していたり、植木屋さんに「これは何の木ですか」と聞いて「こならだよ」と言われると「知ってる」と答えたりしていた。木の名前は難しかったり、それぞれの種類の違いが判りずらかったりもしたが、「木」はもちろん「自然」に興味・関心がでるようになってよかったように思う。

反省点としては、せっかく「木」の勉強をしたのだから木工工作をしたり、木材屋さんに見学にいたり、「紙」を実際に作ってみたりと「体験」することをもっとすれば良かったという点である。

おもしろい形  
みつけたよ



はじめて  
見る形!

ねっこが  
すごい長い!

